

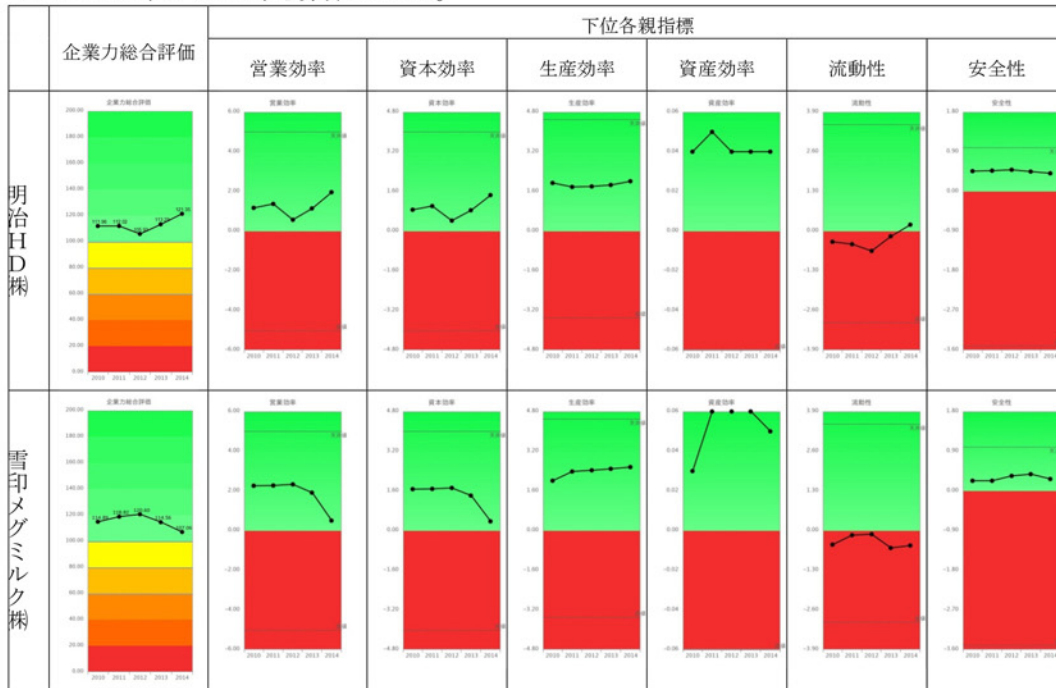


経営分析ニュース

第 111 号
2015 年 2 月 20 日発行
毎月 20 日発行

今回は、明治 VS 雪印。明治ホールディングス株式会社と雪印メグミルク株式会社の乳業大手 2 社を分析しました。乳業の他に、明治HD(株)はお菓子類、雪印メグミルク(株)はバターなど乳製品類のイメージがありますが、実際はどうなっているのでしょうか。

2010～2014 年までの 5 年を分析しました。



企業力総合評価は、明治HD(株)は成長トレンド、雪印メグミルク(株)は悪化トレンドと明暗が分かれました。

営業効率（儲かっているか）は、明治HD(株)は改善トレンドです、雪印メグミルク(株)は悪化トレンドです。資本効率（株主評価）も同様です。

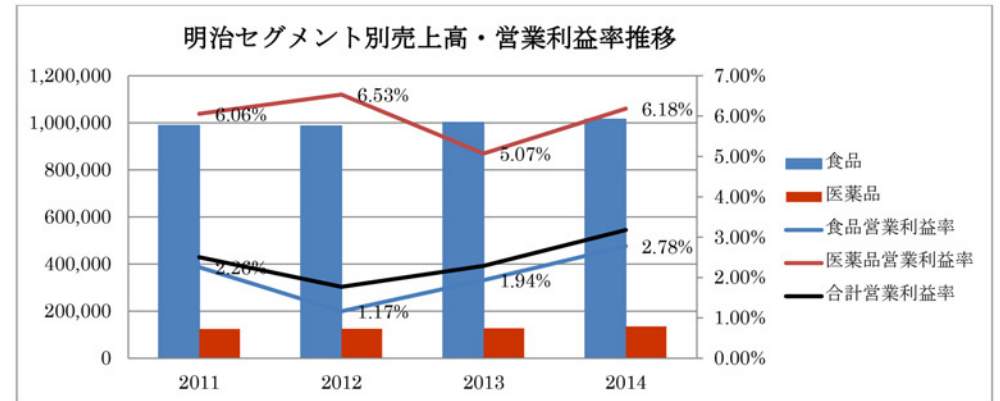
生産効率（人の利用度）、資産効率（資産の利用度）は両社とも青信号領域です。

流動性（短期資金繰り）は、両社、赤・青の境界線付近で、明治HD(株)の方が上です。

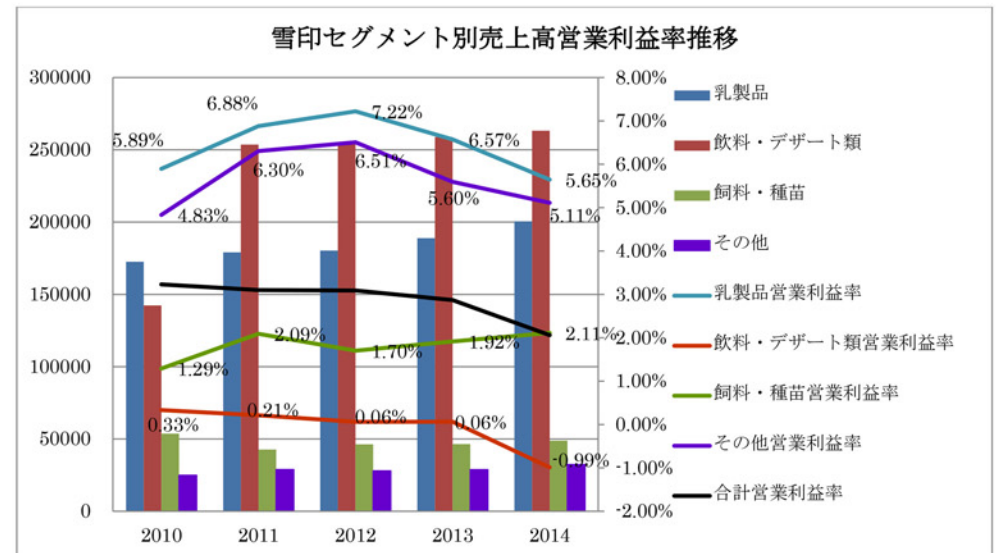
安全性（長期資金繰り）は両社とも青信号領域です。

明治HD(株)は、営業効率が改善し、それに伴い生産効率も改善、流動性も改善、安全性も改善・・・と好循環に入ってきていますが、雪印メグミルク(株)はそうではありません。

営業効率を更に詳しく、製品群別（個々の商品別）・地域別・顧客別などに分けて見てみます。



明治HD(株)は、医薬品事業をしています。食品事業が 1,015,265 百万円に対し、医薬品事業が 135,105 百万円ですから、まだまだ規模は小さいのですが、営業利益率は医薬品事業が遥かに良いようです。



雪印メグミルク(株)は、売上高は、飲料・デザート類事業が伸び、乳製品を抜きました。しかし、2013 年までギリギリプラスだった営業利益率は 2014 年マイナス (△0.99%) になってしまいました。営業利益率の厳しい飲料・デザートの売上が伸びても、全体としては営業効率が悪化します。

まとめ

売上を伸ばしても、利益率が悪ければしんどくなる一方です。数字は、思い入れや様々な事情にお構いなく客観的評価を出してくれます。

編集後記

一所懸命に売上を伸ばして利益がマイナスだなんて辛いな。たけのこの里と牧場の朝で一息入れよう。

〒556-0005 大阪市浪速区日本橋 4-9-21 SARUKI ビル 4F 猿木真紀子税理士事務所
Tel. 06-6631-4570 Fax. 06-6631-7970 info@saruki-tax.jp http://www.saruki-tax.jp